

【銘文】

半円形の間にある四角形で、「田」の字に区切られています。玄武げんぶの右下から、時計回りに56文字が書かれています。

吾作明鏡 幽凍三商 配象萬疆 統徳序道 敬奉賢良 黜克無(社) 百牙拳樂
衆(羊)主陽 聖徳光明 富貴安樂 子孫番昌 学者高連 士至公卿 其師命長
()内は釈読に異同をもつ文字をさす

吾しすかが作る明鏡ねは幽しすかに練ること三商ね(三刻、約45分)なり。像(似せて作ったもの)を万疆(万国)に配る。競めぐりって序ぎざの道さに従い、謹もものんで賢良ひとに奉びとじ、典祀とこを周刻しえむ。百身もろ(百姓)は長もろに楽しみ、衆もろの事は陽わざを主もととせば、福祿かがやは光り明かがやき、富貴かがやは安かがやらけん樂かがやし。子孫かみは蕃昌いのちにして、賢物とこは高しえく顕しえれ、士かみより公卿いのちに至るまで、師とこの命しえより長しえならんことを。